

3 番 和 田

皆さん、おはようございます。それでは、一般質問をさせていただきます。

受付番号第1号、質問議員3番、和田成功。

件名、「やまきた児童クラブの一層の充実を」。

少子高齢化が急速に進み、人口減少社会を迎え、当町においても、人口減少の流れは止まらず、令和3年2月1日現在の人口は9,954人である。次代を担う子どもたちが健やかに育つことができる環境づくりや子育て世帯が安心して子どもを産み育てることができるような子育て支援の一層の充実を図ることにより、定住移住対策などにも寄与するものと考え、質問する。

1、少子化が進んでいるが、学童保育において、核家族化の進展や共働き家庭、独り親家庭の増加などにより、多くのニーズがある中、やまきた児童クラブの現状をどのように捉えているのか。

また、子育て支援としての位置づけをどのように考えているのか。

2、令和2年12月にやまきた児童クラブに関する支援員、保護者アンケート調査が実施されたが、集計結果をどのように捉えているのか。

また、アンケート集計結果を踏まえ、やまきた児童クラブ運営改善に積極的に取り組んでいく考えは。

3、安心安全なやまきた児童クラブ運営において、事件、事故、災害発生時等の緊急対応などの体制整備が必要であると考えますが、現状は。

また、体制強化への取組についての考えは。

以上。

議 長

答弁願います。

町長。

町 長

それでは、和田成功議員から「やまきた児童クラブの一層の充実を」についての御質問をいただきました。

初めに、1点目の御質問の「学童保育において多くのニーズがある中、やまきた児童クラブの現状をどのように捉えているか。また、子育て支援としての位置づけをどのように考えているか」についてであります。やまきた児童クラブは児童福祉法に規定される放課後児童健全育成事業であり、放課後や夏休みなどの長期休業期間中、保護者が就労等により、家庭において保育することができない子どもを対象に保護者に代わって保育を行うとともに

に、生活の場を提供するものであります。以前は保護者会やNPO法人が主催となって運営し、町は支援する立場でありましたが、平成25年4月からは川村小学校の余裕教室を利用して、町が事業主体となっております。町が事業主体となった当初は、対象者は小学校1年生から4年生までとし、保育時間については小学校の休業日は8時から19時までとしておりましたが、現在は対象者を小学校6年生まで引き上げるとともに、保育時間を7時30分から19時30分までに延長いたしました。

また、受け入れる定員につきましても、平成30年に70名から110名に拡充し、令和元年度末時点で1日平均で48名の児童が利用しており、支援策については子ども・子育て支援法に規定される山北町子ども・子育て支援事業計画に基づき、山北町子ども・子育て会議の中で方針を決定しております。このように、町では保護者の希望に沿った取組を進めてまいりましたが、今後も柔軟に対応してまいりたいと考えております。

また、子育て支援としての位置づけにつきましては、本町では子育て支援策として、出産祝い金、紙おむつ支給、子育て支援センターの充実、認定こども園、保育園における町独自の保育料の減免などに取り組んでおりますが、やまきた児童クラブにおきましても、待機児童を出さない取組や安全で安心感のある生活の場としての取組などにより、今後も子育てのしやすい町として、環境づくりを進めてまいります。

次に、2点目の御質問の「令和2年12月にやまきた児童クラブに関する支援員、保護者アンケート調査が実施されましたが、集計結果をどのように捉えているか。また、アンケート集計結果を踏まえ、やまきた児童クラブ運営改善に積極的に取り組んでいく考えは」についてであります。御質問のアンケート調査は、やまきた児童クラブの運営や保育に関し、保護者や支援員がどのように感じているかを把握し、今後の保育サービスの向上につなげることを目的として実施いたしました。その結果を見ますと、保護者からは学習面での支援の希望や保育内容の充実、支援員や町に対しての要望など多岐にわたり、支援員からは職場環境や日頃の保育についての意見等が出されました。このように、保護者としては単に子どもを預けられる場所ではなく、学習面や生活面など、付随する要素を期待していることが伺え、支援員は子

どもたちがいかに楽しく安全安心に過ごせる場とするかとの考えていくことが伺えました。今後この結果を参考に、保護者のニーズに応えつつ、やまきた児童クラブが安全で安心して子どもを預けることができる場所となるよう、様々な面で改善していきたいと考えております。

次に、3点目の御質問の「安心・安全なやまきた児童クラブ運営において、事件、事故、災害発生時等の緊急対応などの体制整備が必要であると考えますが、現状は。また、体制強化への取組についての考えは」についてであります。現在やまきた児童クラブでは、児童の安全を確保するため、山北町放課後児童クラブ緊急時対応マニュアル、山北町放課後児童クラブ災害時等行動計画、山北町児童クラブ避難訓練実施要項を策定し、災害発生時の支援員の対応及び児童の行動等や保護者への周知方法について定めております。

また、地震や火災発生を想定して、年に1回避難訓練を実施しております。緊急時の対応については、平常時から支援員の心構えとしてマニュアルの内容を踏まえ、有事の際には臨機応変に対応できるよう、今後は避難訓練の回数を増やすことや、様々な状況を想定するなど、研修、訓練の内容を見直し、保護者が安心して利用できるよう児童の安全確保に取り組んでいきたいと考えております。

また、体制強化に向けた取組として、民間委託を来年度中に実施するとともに、連絡体制の構築、研修等による支援員の資質の向上を図っていききたいと考えております。

議 長 再質問どうぞ。

和田成功議員。

3 番 和 田 今答弁いただきましたが、それについて再質問させていただきますが、その前に一つ確認のためお尋ねします。町長は、やまきた児童クラブに今年度足を運ばれたことがあるか、ちょっと確認をさせていただきたいと思えます。

議 長 町長。

町 長 直接には行ったことはございませんけれども、学校等に行く機会のあるときには現場についてやっていない時間であっても、ここでやっているかというようなことは確認しております。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 お忙しいので、なかなか訪れるタイミング等つくるのは難しいとは思いますが、子育て支援の一環としてやっている事業でありますので、時間を少しでもつくって、やまきた児童クラブのほうへ足を運んでいただければ、現状等確認できるかと思うので、今後そういうことを期待しております。

続きまして、やまきた児童クラブについて、放課後なので学校の延長ではなく、家庭の延長であり、保育の場であるという認識でしょうか。お尋ねします。

議 長 町長。

町 長 そうですね。当然、いろいろな保護者の方、また家庭において、様々な方が、和田議員がおっしゃるように、非常に増えております。それによりまして、利用者の数も年々増加しているというのが現状でありまして、それを町としては支援していくというような考えですから、その中においては、やはり充実させていきたいというふうに考えております。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 今、町長のほうから充実させていきたいというようなお答えをいただきましたが、保育の場であると同時に、やっぱり社会教育の場でもあるんだと。そういった部分でいろいろな取組を今後されていく考えはあるのでしょうか。

議 長 福祉課長。

福 祉 課 長 いろいろな取組ということでございますが、現在も夏休みなどの長期期間中には、地域で活動をされている各種ボランティアの方などによりまして、体験学習ですとか、あと手話サークルですとか、本の読み聞かせなどを実施しておりますが、今後ほかにも地域において行っているようなことがあるかと思っておりますので、検討はしていきたいと思っております。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 今、地域のボランティア団体等、いろいろ地域と触れ合う活動をされているということでしたが、そういう活動をされているのであれば、各種団体等との連携を強化し、地域の伝統文化等と触れる機会を増やすような取組、例えばお囃子保存会でしたり、流鏝馬保存会、消防団やボランティア団体、林業、農業関係者等と触れ合う機会を通じて、また体験するようなことを踏まえて、担い手不足や担い手の育成等に寄与すると思うので、そういう活動を

今後とも地域と連携を強化しつつ、取り組んでいただきたいと思います、
そういう考えはございませんか。

議 長 福祉課長。

福 祉 課 長 どのようなことが想定されるか今後は検討していきたいと思いますが、
極力地域のほうの行事なんかには参加をするような方向ではちょっと検討
していきたいと思います。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 積極的にそういうのを取り入れていっていただきたいと思います。

続きまして、福祉教育常任委員会として、図工室の通年利用を提言いたし
ましたが、どのような検討がされたのかお答えいただけますでしょうか。

議 長 福祉課長。

福 祉 課 長 図工室ですね。現在、12月から2月の間は学校の行事で使うということで、
その間はランチルームを使用させていただいております。図工室を通年利
用とすることになりますと、使えない時期、学校で使っている12月から2
月の間をほかの教室でやらしてもらわなければいけないということで、
ちょっとその辺の改造費等がかなり金額的にもいくというようなところで、
今後通年利用に向けてはいきたいとは思っておりますけれど。その辺が改
修費用というところで検討はしているところでございます。

議 長 副町長。

副 町 長 ただいまの図工室の話なんです、この後の熊澤議員の御質問の中で、ず
ばりそのことが御質問になっていきますので、そのときに、ある程度具体的に
答えさせていただきたいというふうに思います。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 この後、その辺をずばりと質問をされる方がいるのは承知しているんです
が、軽くということで。私的には使えない時期、ランチルームを使う12月か
ら2月、図工室は現状使っている教室と廊下を挟んで反対側であります、
ランチルームは校舎の東と西というようになちょっと距離的にあるかなという
ところで、安全・安心というところを考えれば、やはり図工室の通年利用を
積極的に検討をされるべきであると考えております。私は、この辺で次にお
任せしたいと思いますので。

それで、いろいろしおり等を見させていただくと、支援員さんの方も大変そうで、いろいろ頑張っているとは思いますが、今現状よりプラスアルファ、よりよい子育て支援の一環として、やまきた児童クラブの運営という部分でプラスアルファの取組というので提案させていただきたいのは、例えばALTの派遣等を週に1回とは言わないですけど、月に1回とか、遊びを通じて英語に触れる機会を子どもたちにより多く与える。そういう取組は当町独自でできるのかなと、そういうことを進めることによって、子どもたちが英語に関して興味関心を抱くことによって、英語学力向上につながるのではないかと考えておりますので、その辺はいかがでしょうか。

議 長

町長。

町

長

様々なことを要望があるというふうに認識はしておりますので、そういったようなことも一つの方法だろうというふうには思いますけれども、原則としては、皆さん、保護者の方からそういったような要望の中で、様々な民間のところもございますし、あるいは、また学校等でも当然そういうような取組のほうを考えておりますので、そういう中で補完的にできるものについては考えていきたいというふうに考えております。

議

長

教育長。

教

育

長

今の質問も含めてなんですけども、今、山北町学童保育も含めて、ゼロ歳から15歳の一貫教育保育、これを取り組んでいこうという中に、児童クラブも含まれています。幼稚園、保育園、あるいはこども園と、さらには、こういった学童、こういったものを一元化して取り組んでいこうというような考えでおりますので、あくまでも学童は生活の場が基本です。ただ、生活の場だけじゃなくて、保護者等のニーズの中にも学習面、あるいは社会性、そういった面もぜひ育てほしいという、そういう要望があります。ですから、その辺のところもしっかりと、これからはさらに重々して取り組んでいく必要があるのではないかなというふうに思っております。そういった中で、先ほど、ALTという話もございましたけども、教育活動の中で、教育課程の中で、ALTを活用して今やっています。ただ、その辺につきましては、契約だとか、働き方についての契約等、勤務のほうの関係がございますので、そのところの見直しをしていかないといけないというふうに思っております。

けれども。ただ、ALTにこだわらず、英語の英会話の例えば講座だとか、そういった面にはいろいろなそういったたけている方もいられますので、そういった講師を呼ぶとか、そういったいろいろな方法は今後考えていきたいというふうに考えてございます。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 今、教育長の答弁があつて、積極的に進んでいくのかなと期待するような御答弁でありましたが、より一層積極的にスピード感をもって柔軟な対応をしていただければと思います。生活の場と言っていますが、こちらの山北放課後児童クラブのしおりの中には、基本的な生活習慣、学習習慣等を身につける、またマナーが身につくような児童クラブ運営を行うというような記述がございますが、現状、そのような運営がちゃんとできているのかというのをお聞きしたいと思います。

議 長 福祉課長。

福 祉 課 長 運営につきましては、やまきた児童クラブのしおりにもございます、やまきた児童クラブ運営方針というのがございまして、その中に一つ目として基本的な生活習慣、学習習慣等を身につけるといふようなことで。これは、日常生活に必要な生活習慣やマナーが身につくような児童クラブの運営を行うと。

それから、2番目としまして、遊びや体験を通じて自主性、社会性及び創造性を養ふということ。これは遊びや体験の機会を充実させて、子どもたちの心身の発達を促進し、自主性、社会性及び創造性を養ふと。

3番目としまして、屋外での遊びや活動ということ。これは、屋外での遊びや活動を積極的に取り入れて、遊びの場を豊かにすると。

それから、4番目としまして、行事活動ということ。これは季節の行事を楽しむことにより、文化に対する理解を深める機会をつくとともに、子どもや保護者の参加を促して、子ども同士や保護者との関わりを深めるということ。ございまして、子どもたちが安全で安心して生活ができるやまきた児童クラブとなるよう今後もこの方針を基にして、よりよいクラブの運営を行っていききたいと思います。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 今、やまきた児童クラブ運営方針のほうの載っていることが答弁されておりますが、実情、遊びや体験の機会を充実させる。充実できているのでしょうか。

また、4番目に書いてあります「文化に対する理解を深める機会をつくる、子どもや保護者の積極的な参加を促し、子ども同士や保護者の関わりを深める」このような活動等、現状できているのでしょうか。お伺いします。

議 長 福祉課長。

福 祉 課 長 今年度につきましては、ちょっと新型コロナの関係もございましたけれど、児童クラブの運営ということで、年間行事としましては、七夕飾りですとか、生涯学習センターのサマースクールや映画上映会に参加するですとか、夏休み、それからクリスマス会の季節を取り入れたもの、そのようなことを行っております。地域的な地域との関わりについては、先ほど申しましたように、今後ちょっとどのようなものに参加できるかは検討はしていきたいと思います。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 やまきた児童クラブ入所のしおりの中に年間の行事等、地域との関わり合いのある行事等が記載されておりますけれども、そういった部分で、やっぱり地域とも連携を強化していかなければならないといった地域だけではなくて、先ほども教育長がおっしゃったように、学校や放課後子ども教室、地域等の連携について、まさに強化をしていく。また、連携をしていくという部分で庁舎内の福祉課、生涯学習課、学校教育課、教育委員会等、連携、今現状はどういうふうな形になっているのでしょうか。

議 長 教育長。

教 育 長 それぞれ担当課がございまして、それぞれの中で今やっています。ただ、その中で、いろいろな連携というか、連絡等を常に密にしながらやっております。ただ、さらにもっと充実させる、もっと連携をしっかり深めるためには、やはり業務内容的なものを見直して、一つの課にするとか、あるいは業務内容によって、もっとさらに連携を深めるとか。そういった形で、今見直しを行政改革を進めております。1年間かけて、その辺のところを見直していこうという、そういう動きを今始めましたので。

ですから、スピード感と、先ほど言われましたけども、その辺のところは、さらに1年の中でスピード感をもって、そのところは対応していきたいというふうに考えておりますし、乳幼児教育・保育のあり方基本方針というのを昨年度策定させていただきました。それに基づいて、それをさらに進めるために、ゼロ歳から15歳までの教育・保育の一貫教育・保育という、その辺の基本方針を1年間の中では策定しまして。それに基づいて、令和4年度からは実施していきたいというふうに考えてございますので。そういうところはさらに充実した、今懸念されているようなところが解決する形になっていくのかなというふうに思っております。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 今教育長からお答えいただきました。期待以上の積極的にやるというお言葉をいただき、うれしく思っておりますが。言葉どおり、積極的に進めていただきたいと思います。

続きまして、2番目の質問になります。やまきた児童クラブに関する支援員、保護者アンケート調査関連につきまして、再質問させていただきます。アンケートの中にも保護者の費用負担等についての回答がございましたが、おやつ代等を含めて料金の見直しの検討等を必要ではないかというふうに考えておりますが、どのように考えていただけるのかお答えいただけますか。

議 長 福祉課長。

福 祉 課 長 料金の見直しということでございますが、今現在、利用者の負担金は月に8,000円で、半月利用の場合は4,000円となっております。

また、おやつ代は月に2,000円で半月利用で1,000円となっております。今、利用料おやつ代ともに、この場でちょっと改定する、しないというのは、ちょっと申しませんが、今後運営状況等を考慮した中で慎重な検討はしていかなければならないかなと思っております。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 料金見直し検討をされるということでありましたが、子育て世帯の経済的な支援として、料金の減免等も含めて御検討いただければと思いますが、その辺はいかがでしょうか。

議 長 福祉課長。

福祉課長 ちよつとここで料金を上げる、下げるとは言えないのですけれど、全体的を見まして、それで検討をさせていただきたいと思います。

議長 和田成功議員。

3番和田 今、課長がそういうような答弁をされましたが、町長としてはどのようにお考えですか。

議長 町長。

町長 料金のことということももちろんですけども、今現在、いろいろな支援員についても民間委託というようなことも頭の中に描いております。そういう中で、当然、料金を委託した場合に、町としての負担が当然発生します。要するに、今の料金だけでは、多分賄えないだろうというようなことも思っておりますので、そういったときには、当然値上げということではなくて、町のほうで負担をせざるを得ないだろうというふうに思っておりますので、そういったことも含めながら、全体として皆さんに納得していただけるような、そういったような料金体制にしていきたいというふうに考えております。

議長 和田成功議員。

3番和田 答弁の中で、度々民間委託等という言葉がありますが、その辺を視野に入れて、いろいろ活動をされているとは検討をされているとは思いますが、民間委託ですか、近隣等、民間委託している自治体等多いようで、その流れでするのか、もしくは山北として、やまきた児童クラブのビジョンに向けて、公設公営でやるより、公設民営でやったほうがより目標、理想に近づけるから、そのような民間委託を視野に入れているのか。その辺については、どのようにお考えでしょうか。

議長 町長。

町長 おっしゃるように公営で、行政で全部賄うということよりも、やはり、専門的な民間のところがあれば、そういったところを委託先として考えながら、もちろん幾つかありますので、そういった中で交渉してやっていただく。そして町の希望、そういったものも聞いていただけるようになれば、それについて、費用負担についても、町のほうでせざるを得ないのではないかなというふうに考えております。

議長 和田成功議員。

3 番 和 田 現状、町として、明確なやまきた児童クラブのビジョンとか、将来像というものがあるのでしょうか。その辺もう一度お聞きしたいです。

議 長 町長。

町 長 今の社会情勢を見ますと、山北町、まず少子高齢化ということで、子どもの数が非常に減少しているというのが現実です。このままでいくと、今2クラスあるものが1クラスになってしまうのではないかというふうなことを考えておりますので、そういったことも含めながら何とか2クラスは確保したいというようなことを考えております。そうしますと、やはり50人から60人お子さんを生んでいただく。その中で、やはり児童クラブとか、そういったものも最低限充実していかなければ、なかなか山北町として、子育て支援に優しい町というようなことで考えておりますので、そういったようなただ一つだけを見るのではなくて、全体的に見て、当然0歳児から小学校、中学校まで一貫して、どのように町として、子育て支援を考えていかなければいけないかというふうに考えておりますので。そういう中で、放課後児童クラブもあるというようなことで。そこだけが突出して、何かをやるとか、そういったようなことではなくて、全体の流れの中で、町として切れ間なく支援をしていきたいというふうに考えております。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 子育て支援全体をより充実させていくというような町長の答弁だと思いますが、まさに子育て支援を充実させて、町内外に発信することによって、やっぱり定住移住対策等、また子育て世代に魅力あるまちづくりだということを認識してもらって、移住につながるような、そんな積極的な子育て支援事業を進めていっていただきたいと期待しております。

続きまして、アンケート関連でございますが、子どもや保護者の苦情等に対して迅速かつ適切に対応し、その解決を図るよう努めなければならないと考えますが、現状をそのような対応、体制はできているのでしょうか。

議 長 福祉課長。

福 祉 課 長 保護者からの苦情等は支援員や施設長に、また福祉課に直接という場合もございます。支援員や施設長に寄せられた苦情は福祉課にも報告がされまして、福祉課と施設長で事実確認を行って対応をしております。施設長で

対応ができるものは施設長がその場で対応をしております。

現在、苦情等が寄せられた場合のマニュアル等は作成しておりませんので、今後この辺についても整備をしていきたいと思っております。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 今その辺のマニュアルができていないということでしたが、そういう対応マニュアル、連絡系統の構築等はスピード感をもって整備をされることを期待しております。

続きまして、支援員等は子どもの育成支援の充実を図るために必要な知識及び技能の習得、維持及び向上に努められていると思いますが、資質の向上のための職場内外の研修の機会、こちらは機会等は確保されて、それがしっかりと現場、または子どもたちに伝わっているというか、充実したものができているのかというところはどのように捉えておりますでしょうか。

議 長 福祉課長。

福 祉 課 長 支援員の資質の向上ということで研修がございます。今年度は新型コロナの影響によりまして、研修の機会も減っておるんですけど、一応、計7回の研修を受講するというような形になっております。計7回ということで、1人当たり18時間という結構長い時間を確保しております。研修の受講によりまして、支援員の資質の向上が図られまして、日々の保育に生かされていると思っておりますけれど、なかなか成果が見えにくいものでございます。支援員がどれだけレベルアップをしたかというのをちょっと確認することも難しいとは思いますが、今後研修の後に支援員同士がどのように感じて保育に生かすかというようなことも支援員同士で話し合いが行われるような形に持っていければと、そんなふうに思っております。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 今、課長のほうからの答弁で、今後支援員がどう感じたかというのをミーティング等で共有していくというようなお話をいただきましたが、先日もリモート研修ですか、支援員の方熱心にやられていたと思うのですが。そのときに、研修して、復命書を提出する。でも、それを情報共有、皆さんがするというようなミーティングの場がないというような話も聞いておりますので、それでは、せっかくの研修等も効果的に現場で発揮されないと思うので、

そういう部分でやはり支援員の共通認識だったり、そういうものをしっかり共有するようなミーティングを積極的に今後も続けていっていただきたいと思います。

では、続きまして、3番目の安心・安全なやまきた児童クラブ運営等について、お伺いします。緊急時対応マニュアルというものが整備されていると思います。こちらが支援員さん向けにある対応マニュアルで、こちらが保護者に渡されている災害時等行動計画。それで、ちょっと関連で、これが川村小学校の緊急時対応マニュアル。続きまして、安全管理マニュアルですけど、放課後子ども教室、それぞれ担当課が違うので、それぞれがそれぞれつくっているという部分で、これが実際、共有されているのか、共通認識されているのかというふうな話を伺ったところ、個々にやっているの、実際のところ、共通認識、共有されていないと。でも、これ全部関わってくる子どもたちなんです。子どもたちにとって、縦割り社会、縦割り行政なんて、そういうのは関係なくて、いかに安心・安全、子どもたちにとって安心・安全な場を提供するかというのが大前提だと思います。そういった部分で個々につくられるのは分かりますが、その辺共有、もっと積極的な連携、または共有、または合同での避難訓練やシミュレーション等をやっていないと、実際何かあったときに適切な対応ができないんじゃないかと危惧しておりますが、この辺についてはどのようにお考えでしょうか。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、今、山北町としては、学校教育課、あるいは福祉課で担当している保育園や、あるいは幼稚園というものも一元化できないかということで、機構改革というのですか、そういったことを考えております。将来的には教育長も言っておりますけども、一体的に今までの縦割りでなく、一つの課でできるような、そんなようなことをやっていきたいというふうに考えておりますので、和田議員がおっしゃるようなところを十分理解しているというふうに思っておりますので、ぜひそれについて、そういう方向で議員の皆さんにも御協力いただけたらというふうに思っております。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 その様に連携を強化してやっていただけたらと思います。続きまし

て、山北町放課後児童クラブ緊急時対応マニュアルの中にいろいろ書かれておりますが、実際、これで災害時、緊急時、支援員の方がきちんとした対応ができるとお考えでしょうか。お聞かせください。

議 長 福祉課長。

福祉課長 緊急時対応マニュアルということで支援員向けにつくっております。この中に、指揮者は施設長になるですとか、対応者、支援者ということで載っておりますが、その場その場によりまして、支援員が確定している、何というんですか、人ではないものですから、この人がこれをやるのだ、この人はこれをやるんだというのは、なかなかできないところがあります。そうはいっても、緊急時には何かやらなければいけないということがございます。それで、例えば避難場所が、今、川村小学校のグラウンド、それから川村小学校の体育館ということで、そこから保護者に施設長または支援員が責任をもって保護者に引き渡すというようなところで、その間けがや、それから子どもたちに何かしなければいけないようなことがあるというようなときには、このマニュアルに沿って行っていきたいと、そのような感じで思っております。

議 長 このマニュアルとか、この冊子ということではなくて、具体的な名称を質問の方も答弁の方もされて、発言をお願いしたいと思います。

和田成功議員。

3 番 和 田 恐れ入ります。こちら、山北町放課後児童クラブ緊急時対応マニュアルの中にあります、指揮者ですか、施設長等でありまして、ここが指揮をする、判断をするというふうになっておりますが、施設長、判断するに当たって、必要な研修、講習等というのは受けていただけるのでしょうか。

議 長 福祉課長。

福祉課長 特段、災害時と緊急時等の研修等は受けてはございません。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 受けていないのであれば、今後そういうような研修も受けていただいたほうがより一層子どもたちの安心・安全につながるのではないかというふうに考えておりますので、施設長等のみならず、支援員の方々も同じように。実際何か起きなければいいですけれども、起きたときにはきちんとした適切

な対応、また関係箇所、連携したスピーディーに対応できるような体制づくりというのは、今後課題だと思うので、その辺については、町として、積極的に整備を進めていただきたいと思います。町長としてはどのように考えていますか。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、いろいろなアンケート等にもいろいろな課題がありますので、それらを精査して、そして、よりよいものを運営していきたいというふうに考えておりますので、そういった意味では、安心・安全は一番最初に考えなければいけないことですので、そういったことも含めながら、よりよいものにしていきたいというふうに考えております。

議 長 和田成功議員。

3 番 和 田 これですべてにいたしますが、今後子育て支援の一環として、やまきた児童クラブの山北独自のプラスアルファの取組というのを積極的に進めていっていただきたいなということを期待しておりますが、最後に町長、今後の考えでしたり、取組についての思いがありましたら、一言お願いします。

議 長 町長。

町 長 先ほども言いましたように、ただ単にほかの児童クラブということだけでなく、山北町で、当然結婚して、子どもを産んで育ててというように、そういったようなことが安心してできるような体制をつくらなければいけないということで様々な施策をさせていただいております。そういった中での要するに小学校に関しては、小学生になったときには、放課後児童クラブというようにことだというふうに思いますから、当然、前段階の0歳児からもございますし、また児童クラブが終わった後に、今度中学に行くわけですから、そういったような一貫した流れの中で、その子ども子どもに合った一番いい子育て支援の支援を町として行っていきたいというふうに考えております。